



未来へつなぐ

Vol.
173

文／本間 吾里砂

二〇二六年春、JR北海道初の豪華観光列車「赤い星」編成「青い星」編成を運行
列車の旅そのものを楽しめ、鉄道沿線とともに北海道の活性化を推進

これまでにない

新しい観光列車が登場

JR北海道では、これまで
リゾート列車をはじめ、SLニ
セコ号、SL冬の湿原号、富良
野・美瑛・羅臼・網走など、さ
ざまな観光列車を運行し、多
くのお客様に北海道ならではの
思い出を提供してきました。
これらの列車は、老朽化に
より、すでに廃車となったもの
があり、今後も継続的に運行
できる車両が減少していきま
す。そうした状況を受け、車



「赤い星」編成



「青い星」編成

両運行体系サービスなどす
べてにおいて新しい観光列車
を開発し、鉄道沿線とともに
北海道の活性化を目指す「ス
タートレイン計画」を開始。J
R北海道にとって初めてとな
る豪華観光列車「赤い星」編
成と「青い星」編成を二〇二六
年春から運行することになり
ました。デザインを担当する
のは、JR九州の観光列車「な
なつ星 in 九州」を手がけた
インダストリアルデザイナーの
水戸岡鋭治さん。

「赤い星」編成は主に釧網

線、「青い星」編成は主に富良
野線での運行を予定している
ほか、北海道を周遊するク
ルーズトレインとしての活用
も検討しています。

国内外のお客様にPR 北海道の活性化に期待

両列車はそれぞれ四両編
成で、道内で使われてきたキ
ハ143形を改造し、再利用
することでSDGsに取り組
むとともに、今までにない「豪
華」で「上質」な設備を採用。



車内インテリアイメージ「赤い星」編成

北海道開拓のシンボルである
赤星をイメージした「赤い星」
編成は、全席をラグジュアリー
（豪華）クラスの座席とし、個
室やラウンジ、茶室などを設
置します。定員は約一〇〇名
程度。一方、ラベンダーや青い池
をイメージした「青い星」編成
は、プレミアム（上質）クラスの
四人がけボックス席を基本と
し、全車に展望室、荷棚、大型
荷物置場を設置します。定
員は約二〇〇名程度。

具体的な運行概要はこれか
ら検討する予定ですが、車内
でのおもてなしを含め、列車
の旅そのものを楽しんでもら
えるような、JR北海道とし
て今までにない観光列車の活
用を見据えています。国内外
を問わず多くのお客様が対象
だけに、運行区間、ダイヤ、
サービス内容など、このふたつ
の観光列車に対する今後の動
きに注目が集まっています。①